

□ アナリスト週間相場予想

	原油 Oil	ガソリン Oil	灯油 Oil
江崎			
西			

Pick up News

[注目スケジュール]

- 6/27 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉明細
- 7/ 2 石油連盟週報
- 米エネルギー情報局 (EIA) 週間在庫
- 4 米国休場 (独立記念日)

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



先週に引き続きガソリンの買いクラック推奨、ここ1週間でガソリン12月・原油11月でみて一時9,000円近辺まで上伸した同クラックは現時点で7,000円台後半を競っている。

又上のチャートはWTI原油期近であるが、ボリンジャーの中心線をサポートにして2σはレジスタンスとなっている状態は変わらず、ここ2週間は推移している。ただ、現時点ではボリンジャーバンド全体が幅を持っているにも関わらず、更にバンドを拡大する兆候がある為、とても売れるチャートではないと言う事ができる。もしも売り参入を考える場合は少なくともバンド2σにタッチした後、下落に転じる動きを確認して売り参入するか、逆にここから急落に転じてバンド中心線(20日移動平均線)を割り込む動きを見せないテクニカル的には売りサインが発動する可能性は低い。よって少なくとも前代未聞な程低い数値を推移しているガソリンのクラックが消去法で浮かび上がるという流れとなる。オーバーナイトの片張りは極力避けてスプレッド若しくは小さめのロスカットラインを設定した日計りに徹するしか手段は無いと当方感ずる。(6/27 13:10現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

原油相場は一時的ではあるが、とうとう140ドル台を実現した。米FOMCの結果を受けてドルが売られれば、原油は140ドル台と予想する声は以前からあったが、当日は米エネルギー情報局(EIA)が発表した在庫報告にて、事前予想に反して原油在庫が増加し、これが売り材料となっていた。それが今度は急騰と様変わり。反米派のリビアが減産に言及したことが材料視されている。

先日の消費国・産油国会合ではサウジが増産、そして将来的な増産余力を確保すべく投資を拡大するとリリースされ、クウェート、イラクもまた傾向を同じにしていたが、ここへ来て反米派のリビアが総意を無視するような発言を出した。政情不安を抱えるナイジェリアや、これまた反米政権として名高いベネズエラなどが反旗を翻せば、それこそ原油相場は150ドル台へと向かってもおかしくなくなってきた。OPEC議長はいきなり170ドルもあり得ると言っているほどである。

実際にはニュースを騒がすほどの需給の変動というものはないにしても、もはや原油が金融商品化してしまった点は見逃せないということであろう。投機筋を抑制すべく監視強化体制は取られつつあるが、ここで相場が暴落でもすれば、今や年金基金のマネーさえも入っている市場であるため、影響が大き過ぎるというものもある。緩やかな調整に向かわせつつ、市場構成を適正化させるといった暗黙のシナリオには暗雲が立ち込めているようだ(この点に関しては市場で囁かれているレベルの話で、信憑性は定かではない)。

さて、大きな流れはドル安、そして信用不安による株安、オルタナティブ(代替)投資としてのコモディティ市場の上昇。特に原油の上げつづりが脚光を浴びる条件が整ってしまっている。買うにはリスクも大きい、売りは見送らざるを得まい。

◆添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年6月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年6月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 商品取引所ビル2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)